



変えよう稲門英語会

会長 君和田 正夫



今年の稲門英語会総会は10月26日の土曜日に開くことになりました。12月でなくて10月、ウィークデーでなくて週末、夕方からでなくて午後3時半開始、すべて異例です。この試みは戸倉幹事長を中心に、各年代の人たちの「思い切って変えてみよう」という強い気持ちから生まれました。「なぜ変える必要があるのか」は大きく分けて三点あるのかと思います。

まず第一は参加者が減ってきていることです。これが最大の理由です。ではなぜ減っているのか、というと、第二、第三の理由になります。皆様も御存じの通り、女性の参加者、若者の参加者が減っている、あるいはもともと少なかった、ということ。高年齢男子の集まりになっていく、と言えるでしょう。

総会に参加できなくなる人も、今後増えてくるでしょう。つまり「絶滅危惧種」の状態に近づいているのです。「どうしたらいいのかわかる」が幹事のみならず、多くの会員の共通の認識・関心事だったので、ではないでしょうか。

「魅力的な総会」「楽しい総会」にしましょう、という気持ちですが、今回の試みになりました。ですからあくまでも「試み」です。女性にも若手にも魅力がある総会、を目指しました。「エンターテインメント」の要素を随分入れたつもりです。WESS O.Gの池澤美佳さんにシャンソンを歌ってもらうことにしました。彼女には1994年(平成6年)に行われた一〇〇周年記念式典でも歌っていただいた、と記憶しております。

ビンゴもやって出来るだけ多くの人に、賞品をお持ち帰りいただくこと、計画しています。

幹事団が賞品集めに苦労したことをお伝えしておきます。ビンゴの司会というのか、仕切り役というのか、結構、難しいのだそうです。これも39年卒の森田宏次さんに引き受けてもらいました。シャンソン同様、森田さんもビンゴの道具をお持ちのプロだそうです。英語会には、いろいろなタレントがいっぱいいるんですよ。今回の試みがうまくいったら、次回以降、自薦他薦のエンターティナーが期待できそうです。

7月に草津で一泊二日、ツアーのゴルフを楽しんできました。草津カントリークラブの理事長に、39年卒(39年ばかりで「ごめんさい」)の萩原亜海さんが就任されたので、ゴルフ好きが「理事長

視察に行こう」ということになりました。理事長に高級旅館を安く紹介してもらい、総勢16人、充実した二日間を過ごしました。

組織の運営というのは難しいに違いがありますが、半世紀にわたって、会社組織にどっぷり浸ってきた人間から見ると、WESSのような親睦団体の開放度、自由度は魅力的です。

草津はたまたま男だけの集まりになってしまいましたが、このようなイベントが気軽にできるような組織になればいい、と願っています。

今回の総会はそのための「試み」です。時期、場所、内容について、どんな意見を言ってくれたい。面白い提案をお待ちします。

(昭和39年卒)

清岸院 観桜会を惜しみ

取材 古藤 黎子

4月5日(金)東京・芝の清岸院で、観桜会が催されました。10年目の今年、これが最後の会となりました。

観桜会は、都心に通勤している英語会OB O.Gの交流の場になればと、ご住職の川岸高真さん(35年卒)のご好意で始められた会です。

この10年間、観桜会という場で学生時代の友人や先輩・後輩と語らう素晴らしい機会をご提供いただいたご住職と

ご家族に、集まった会員から感謝の言葉が贈られました。

当日は、川岸ご住職からのお言葉(講話)、梶山さんのギター演奏、奥田美代子さんの薩摩琵琶の演奏を楽しみ、その後、歓談。最後にこの10年間のお世話役、泉 雄次郎さん(38年卒)からサミエル・ウルマンの詩「青春の詩」から次のような一節が紹介され、この10年間を惜しみつつ散会となりました。

「青春とは、人生のある期間をいうのではなく、心の持ち方を言うのだ。たくましい意志、豊かな想像力、燃えるような情熱があれば、それを青春というのだ。時に20歳の青年よりも、60歳の老人に青春がある。歳を重ねただけでは人は老いない」

今号では、当日演奏してくださった奥田美代子さんに薩摩琵琶のことを書いていただきました。

(昭和41年卒)



川岸さんご夫妻に感謝の言葉を述べる泉さん(写真・古藤)

琵琶に惹かれて

奥田 美代子

漆の上に螺鈿で、波に片輪車の古典の模様をあしらった愛用の琵琶は、姿が美しく、

薩摩琵琶にしては柔らかな響きがする。

先日、その螺鈿の一部がはがれそうになり、京都の螺鈿の店に修理に出した。ひと月余りかかるという。

私と琵琶の出会いにはニューヨーク。主人の駐在中、領事公邸での邦楽のサロンコンサートに招待された時のこと。初めて身近で聴いた琵琶の音色は衝撃的だった。帰国してからすぐ習い始め、この夏で13年、細々ながら続いている。

「行く春のあはれをたれに語らまし、琵琶の音色の今宵澄みゆく」

最近になってやっと音色や響きに、もつと感覚を研ぎ澄ましてゆきたいとの想いが強くなってきた。

ベルシャのバルバットが祖といわれる絃楽器は、アラブ圏ではウード、ヨーロッパではリュート、アジア方面へは形を変えながら、シルクロードを渡り、中国では琵琶(琵琶)が生まれ、終着点の正倉院まで辿り着いた。エキゾチックな図柄、宝石と螺鈿をちりばめた、あの美しい五絃の琵琶である。

琵琶は鎌倉時代から次第に日本化され、中世には平家琵琶、近世に薩摩琵琶、近代に筑前琵琶、錦琵琶が生まれた。現在、琵琶人口約400人。絶滅危惧種のように心もとない。

琵琶の最大の魅力は、絹糸の絃の音色と、サワリといわれる、びゅんびゅんと震えるような、倍音を含んだ響き。

清涼感のある湿潤な響きは、心に深く沁みて懐かしく、風のように自在に時空を超えて、古のオリエンタの息吹を

感じさせる。

21世紀の今、源氏物語や平家物語など、豊饒な古典文学の弾き語りと並行して、琵琶に現代の絃楽器として再び光を当てる試みがある。琵琶は実に古くて、しかも新しい。

(昭和39年卒)



観桜会当日、清岸院で琵琶を演奏する奥田さん(写真・古藤)

現役WESS報告

幹事長 原 良輔

今年度新入生歓迎活動(以下新歓活動)では、より幅広い新入生にWESSの情報を発信するため、Twitterを活用致しました。

全体のイベントの情報発信の際には今年度企画管理を務める和久が、また各ホームミーティングが企画するイベントに関しては各ホームミーティングの総務がTwitterを用いて情報発信を行いました。さらに、従来のコミュニケーションより手軽なLINEの活用等、様々な試みを致しましたところ、約140名の新入生が入会するという、例年になく新歓活動の成果をあげることができました。

夏に行われた、大夏活動では、例年通り、宮川旅館にお世話になり、肝試し、運動会、演芸大会、登山、ボート、ハ

イキング、班歌大会、キャンプファイヤー、ビールかけ等、様々なイベントを行いました。無事故で無事東京に帰り、会員皆、忘れられない夏の思い出を作りました。

スピーチ活動については、昨年度四大学英語劇大会でBest Performer賞を獲得した森田温子が、第27回East Japanで準優勝、第18回へボン杯で優勝、第71回三上杯で優勝、第33回JUELで3位、という素晴らしい成績を残しています。また、大隈杯への出場も既に決まっております。後期の成績も期待出来ます。

デイイベント活動では、スピーチセッション同様、素晴らしい成績を残しました。NAFA教で1位、2位、3位を独占、春の2人制ディベート大会ではベスト8、KIDLでは1位、2位、AYAMEでは1位から3位を独占、JNDTではベスト8、TIDLでは2位、East Westでは2位、みちのく大会でベスト8、という成績を残しました。ここ数年、優れた成績を残してくださった先輩に恥じぬ、立派な成績でした。

ドラマ活動では、6月初めに学生会館地下2階でIntroduction Playとして『The Wall』を公演しました。例年とはまた違った舞台の使い方を模索し、強いメッセージ性を持ったものを上演しました。OB O.G.そして後輩、同輩と様々な反響を頂き、11月末の四大学英語劇大会への糧となりました。

後期活動でも、気を引き締め、各活動に精を出していきたいと考えております。是非、OB O.Gの方がたの御支援を、宜しくお願い致します。

同窓会だより

アメリカ高校生活奮闘記

廣澤 賢

私は、妻次男と共に1985年1月から1999年8月迄、前半7年シヤンパーグ地区(シカゴ・イリノイ州オヘア国際空港より約20キロ西に在る)に移動勤務しました。この中で今回次男の英語習得の苦闘を、これからアメリカに赴任される方の参考にと思い記述致します。

彼は、中学2年に編入しましたが、中学での学習は殆どなく、高校1年からのスタートとなりました。この高校は4年間で科目ごとに教室教師が変わる日本の大学と同じシステムで、勿論ホームルームがベースで、担任教師がおります。日本の中学2年習得の英語レベルでは教室での講義についていけないわけもなく、毎日の宿題は私の帰宅を待って一緒に取り組み、更に他国から編入して来た生徒と一緒にE.S.L (English as second language) に夏休み中参加しました。一方、週一回また1年に一度、生徒の保護者が学校に招かれ、どの様な授業(1科目15分程度)の各科目教師による説明が実施されているか指導内容が公開され、最後にホームルームに戻り保護者と担任教師との質疑応答時間を用意されました。

この折、担任教師から次男について次のようなアドバイスがありました。

「彼は各科目の先生の質問を殆ど理解しているが、手を挙げないので今後たとえ間違っている

答でも積極的に手を挙げて回答する事、また疑問点も迷わず手を挙げて問題を先送りしない事」等です。

この事から私はアメリカの基本的な子供に対する教育は、人前で自分の意見をはっきりと発表する習慣を身につけさせる点にあると感じました。とにかくアメリカの高校ではどの科目一つでもF点を取ると進級出来ないのです。4年間子供と一緒に英語を見つめ直し、私自身、後に近くのコミュニティ・カレッジで夜週2回IDIONS、コースを取る事になり、改めて英語の難しさを痛感致しました。その後次男は、地元高校を卒業し、希望していた日本の大学も卒業、現在一社会人として元気に日々過ごしております。

(昭和33年卒)

飯島君、川村君、内田君を偲んで

平野 亨

今年は何と言うむごい年回りなのだろう? 一月に川村泰道君が、4月に内田孝君が、相次いで突然、鬼籍に入ってしまった。昨年、同期のリーダーであった飯島三樹夫君が長い闘病生活の後、帰らぬ人となり、ショックを受けたばかりである。三人共にE.S.Sの重鎮として活躍した仲間であり、想い出は尽きない。

川村・内田とは、学生時代に夏の北海道、春の九州を学生特有の貧乏旅行で楽しみ、夏季野尻湖合宿の帰りに、飯島含む7名の仲間が、我が郷里(愛知県常滑市大野町)で一週間過ごし、伊勢湾での沖釣りや海水浴を楽しんだ。

一昨年には、川村・内田・伊東と小生で能登半島一周旅行を敢行し、更に昨年7月には鳥取、鳥根にかけて古代神話の古事蹟

を訪ね、序に世界文化遺産に登録された石見銀山と、江戸・明治にかけて全国一の製鉄地帯であった「たたら製鉄」跡を見学する旅行を計画していた。日本古代史研究に造詣の深い川村が、「今回の案内は俺に任せろ!」と言って張切って準備してくれていた。その最中での発病(肺癌)となり、計画実行は彼の回復を待って暫し延期とされていた。

内田は、独力でF.Pの国家資格を取得して、経営診断に関与する傍ら、趣味の油絵を本格的に勉強して力をつけ、最近では各地の絵画展にも時々入選していた。同期の仲間がお祝いに駆けつけて彼の作品を一頻り品評した後、近くの居酒屋で旧交を温めるのを楽しみとしていた。こんな彼が自宅近くの知人と談笑中に倒れ、帰らぬ人となるのは誰が想像出来たであろう。冠動脈/動脈瘤破裂とのことである。

S32年4月、早大入学直後にE.S.Sで初めて知り合ってから56年の長きに亘る交友は、我が人生その物であり、彼等との関わり無しには考えられない。

三人のご冥福を心からお祈りする毎日である。(昭和36年卒)

多忙な後期高齢者

横田 安正

6月24日、75歳になったが、何故か忙しい。毎年、2月と6月に芸術界のノーベル賞といわれる「世界文化賞」の翻訳の仕事が入る。膨大な量だ。2月の末に狭心症で倒れ、カテーテル手術を敢行、ステントを1本埋め込んだ。6月から7月にかけて翻訳はストレスをためないよう暗示をかけ、何とか乗り切った。長嶺ヤス子12月公演のため「愛の讃歌―楽園の女神」という舞踊劇の台本を書いた。アメ

リカから4人の黒人ダンサー、スペインから10人の踊り手、楽士を迎えての大掛かりな公演だ。稽古から本番まで連日つき会う。丸善出版の「イギリス文化事典」で、ロレンス・オリヴィエに関する原稿執筆の依頼が舞い込んだ。こつこつと7年間撮影を続けてきた長嶺ヤス子の劇場用ドキュメンタリー映画はポストプロダクションの段階に入った。早稲田E.S.Sの英語劇では、8月末の3日間にわたるヴォイス・トレーニンングに始まり、英国人俳優と組んで演技指導を行う。本番は11月の末、それまで緊張が続く。

9月25日(水)神宮前のレストランで総会を開きます。およそ20名余が参加の予定。前立腺、脊椎間狭窄など多少の健康問題はあっても、近代医学の治療で皆元気に生還。ダンス、ゴルフ(9月30日蓼科)、テニス、美味いもの探検、と楽しく過ごしております。

以下の個人短信をどうぞ。

英稲会(38年)みんな平穩に

(昭和37年卒)

厚木市の低山に何度も行って元気で、(河原崎勝造)

日々豊かな恵みに感謝しつつ、(東後勝明)

ゴルフでも 腰痛 膝痛が、(坂井 馨)

一日一日大切に明るく過ごしたいと思ひます。(小林洋子)

「老驥伏し櫪・千里の志」の日々です。(奥田斐規)

猛暑の折、下手なギターを抱えて暑さを忘れ。(梶山 亨)

草深き関八州の地茂原にて我一人生きゆきぬ。(大倉 肇)

つくばの科学館、NPOなどで、理科実験工作のショーなどやっ

てます。(崎村雅彦)

映画・音楽・旅行等で老後を楽しんでいきます。(浜本尚子)

キョウウウ(今日用がある)とキョウイク(今日行く所がある)に毎日務めています(上田幸弘)

感心、感動、感謝を忘れずに過ごしたい。(森 美紀子)

歳と仲良くし、無事を心がけています。(津田桂子)

4輪は卒業、電動3輪車で街を颯爽と走行中。(畑 廣子)

両脚の浮腫みが回復せず、不愉快な日々を過ごしております。(浅香英男)

教育、教養を心がける毎日です。(栗林 寧)

雀の涙と承知ながら米合衆国年金を申請。(古谷俊爾)

この投稿を待つ人いるは我が悦び。(佐藤泰男)

先のみえてきた人生一日一日を大事に過してきます(有馬れい子)

ボケ防止にキョウウウ(今日用あり)、キョウイク(今日行く所あり)を実践しております。(内田紘一)

白内障手術で、左目視力1.2に回復。(泉 雄次郎)

時の流れを楽しめる日々を願うこの頃です。(田口隆志)

今夏は立山連峰に登頂予定です。(阿部 達)

メチャ忙しくなった宝飾商、なぜ? (三船昌子)

今年もマレーシアで居候。ここからも世界の右往左往が手にとるように。(島村政二郎)

前立腺がんを早期発見とダビンチ手術で対処。(高木聰行)

「普通」が有難いと思う日々です。(河原篤子)

相変わらずダンス、ダンス、ダンス。(松村央子)

まあまあ元気です。(田崎 徹)

動作が鈍くなつてテニス・ゴルフも止まりました。(杉山昌章)

耳が遠くなつてついつい大声に

分かったのです!(能正 豊)

国際研修会報告

担当幹事: 昭和53年卒業 平松 昌雄

本年は3月15日に54回として有楽町の国際フォーラムで「不動産から見えてくるもの これからの不動産はどうなる」というテーマで昭和48年卒の不動産鑑定士の井口敦雄さんに講演をしていただきました。

55回目は、昨年、結成された壮年部と合同での開催となりました。時間も今までの早朝8時からではなく、夜の7時から、場所も早稲田大学近くの高田牧舎で、1983年卒で味の素株式会社の取締役 常務執行役員である栃尾雅也さんに「世界に挑む小さなユニーク企業、味の素の企業戦略」という内容で講演をしていただきました。講演後には立食形式での懇親会を設け、様々な方が交流できたように思います。出席者も今まで参加されていた方々に加えて壮年部の方にも参加を呼びかけいただき、33名もの方々が参加していただけたのは、今後の会の方向性を決めるものでした。若い世代の方でもし興味がある方は稲門会事務局 wess@kiass.net までご一報ください。会の内容をご連絡させていただきます。

【平松昌雄 連絡先: ☎090-4938-0063 mail:masaoh@yahoo.co.jp】

友人の無病息災祈る日々 (大駒 勲)

冬に脊椎管狭窄症の手術を受け、春には完治。(広江尚司)

家事をシェアして二人でやっとの老後かな。(大渡 肇)

神秘的な縁

安齊 洋一

7月12日から26日まで、ブラジルとアルゼンチンを訪ねました。リオデジャネイロで、同州の日伯文化体育連盟理事長をさ

らと懇談する機会を得ました。ご迷惑ではないかと恐れつつ、昭和39年卒のW.E.S.Sの同期で、卒業を待たずにサンパウロに永住した和田襄一君の消息を調べたい旨お伝えしたところ、有難いことに、鹿田さんがブラジル稲門会会長の相田祐弘(あいだ やすひろ)氏に連絡してくださり、和田君の住所・電話・メールアドレスがついに

分かったのです!

憧れのニューオリンズへ

吉橋 和夫

和田君の消息は私達の帰国後、相田さんからのメールで知り、相田さんからのメールで知り、早速彼に電話をして、妻と共に懐かしくも嬉しい会話を50年ぶりに交わしました!

和田君は健在で、心臓装置関連の医療機器を扱う会社で仕事をしています。彼が来日する機会があったら、仲間と共に是非旧交を温めたいと願っています。(昭和39年卒)

7月に同期の田中、北川、花井の4人で横浜のイタリアンで暑気払いをした折、田中から旅行のことも書けと稲門会の原稿用紙を渡されました。私は学生時代から何時かはニューオリンズに行つて本場のジャズを聴きたいものと思ひながらも、12年間のSF駐在時代も、また帰国後の貿易会社時代にも行く機会を失っていましたが、6月下

稲門英語会2013年度会計報告

(自2012.10.01 至2013.09.30)

【単位：円】

Table with 4 columns: 収入の部, 金額, 支出の部, 金額. Rows include 前年度繰越金, 今年度収入合計, 今年度支出合計, etc.

幹事会剰余金 預金利息 その他収入金... 上記のとおりご報告申し上げます。

※「会計報告および年会費納入者リストは8月31日までの実績に基づいております。最終情報は10月26日開催の総会時に報告予定です。」

早馬会は古希総会

山内 正樹

旬、NYに駐在している長男の所に遊びに行ったのを機会に、孫たちも連れてニューオリンズ小旅行に行きました。

我々S41年卒組「早馬会」の由来はこの年が午(馬)年だったこと。

期日は11月12日(火)17時から

LA本社、東京支社のOB会

浮貝 泰夫

折角の「稲門英語会だより」なので、ちょっとその一隅を借りて宣伝。

早稲田大学卒業と同時に、大手外航船舶会社に入社して20年経過時(42歳)、会社更生法申請とともに、退職した。

17回目のゴルフ

塩沢 三男

大学の先輩の推薦にて、その頃海外進出を狙っていた酒類(焼酎、ワイン、洋酒等)メーカーに転職した。

6月29日、ナレ(70年卒)の会がスカイツリーの雄姿を臨める東天紅で14名が参加して開催された。

中国に戻る」と言っていた日



白HMの小林隆君がこの4月に鬼籍に入ったとの報告をもらった。IBMを退職後は中国で起業家指導に真摯に取り組み、

近況報告では、五木寛之の百寺巡礼を読み始めて感動している、株に再稼働し儲かっている、

高齡の母一人が住む九州に自分だけ移り住む、カヌーの手作りに勤しんでいる、般若心経にはまっている、1年後輩の国際弁護士伯文氏が代表をされている

終の棲家や雪五尺?

天沼 真佐子

40年前に初めて軽井沢にひと夏滞在し、それ以来、国外に滞在していた期間を除き、毎夏で

快適です、夏は。気温は30度

転職先はホーチミン

新村 弘之

2011年秋からベトナムホーチミンに単身赴任しています。前の会社を定年前に転職しました。

自身の95年まで6年の米国に次ぐ二度目の海外駐在です。38年前、早大生の頃に悲惨な映像に心を震わせたかの地で仕事をすることになるとは自分でも驚く展開です。

還暦を迎えての富士登山?

山田 御酒

私達、昭和51年卒業組の多くは今年、還暦を迎えます。これを機会に何か意味のあることをやりたいと思っているのは私だけではないはずです。

偶然にも世界遺産に登録された富士山登山を目指しています。そこで手始めに先週、休暇を利用して上高地へ出かけてみました。

昭和53年近況

平松 昌雄

今年の5月12日の夜に同期の者から連絡が入りました。同期の岡部俊司君が急性心不全でなくなったとの事でした。

昭和53年卒の同期としては初

稲門英語会ゴルフコンペ

幹事のつづやき

ゴルフ会幹事 毛利 憲勝(昭和48年卒)

ゴルフを始めて35年は経つのに、今では100も切れず、先日はハーフでエイジ・シュートをするという大記録を作りました。

2013年度 稲門英語会 年会費納入者のお名前

(2012年10月1日から2013年8月30日まで)

Table with columns for graduation year (卒年) and names of members (納入者). The table lists names for each year from 1944 to 2013.

めての死亡です。享年58歳。まだ実感として受け入れられませんが、と同時に我々の世代もその様な年代に入った事を痛感する出来事でもありました。それだからこそ、英語会の方々の絆をより大切にしたいという思いをより大切にしていきたいと意を強くしました。(昭和53年卒)



WESSがくれたもの

4年間のWESS生活で話せる英語が上達したという自覚は恥ずかしながら、無い。あの華麗なDebater達が羨ましかった。ただあの頃の経験が何か腹の底で、使える力を蓄えてくれた。大隈講堂前でのゲティスバーグの大声練習、一橋講堂での大根役者芸、幹事長時代の通算144回のスピーチ、準備不足で臨んだ関西&ハワイ遠征、KUEL・JUELの切れ者達を相手にした総会での切り、等々。入社間もない若造の初駐在での加州ニューポートビーチ市公聴会にて社を代表して行った苦しい答弁、中堅どころでの単身南ア出張にて300人程のメディア・識者に行った環境車試乗会でのQ&A、リコール問題ピーク時の再駐在でのデトロイト日本商工会議所副会長に求められた即興スピーチ。震災復興NYカーネギー

問澤 宏

ホールコンサートのパフォーマンス。その場では心地良い流暢さより、追い込まれた中での居直り、謂わばWESS仕込みの「英語胆力」が物を言った。WESSには足を向けて寝られない。(昭和57年卒)

ならは葉隠一番

北迫 泰行

在学中だった93年当時、大隈通りに「葉隠一番」という中華料理店がありました。92年幹事



本庄君も当時バイトしていました。その質と量たるや、いかにも学生街にあるという感じで、ラードで下処理された回鍋肉丼も麻婆丼も、直径30cm位が標準。大盛になるとその1.5倍くらい

君、94年の君、渡部修代、佐賀に移転することとなり、私の代の猛者達が集結し、先日、食べ納めをしました。特に、噂の麻婆丼大盛りを選んだ佐原君(大夏93委員長)はマスターの期待に応えるかの如く、5分で平らげました。麻婆豆腐は飲み物であると初めて知りました。マスターは佐賀でもお店を開く

い。その後、葉隠は小滝橋のほうに移転し、そこでもど力盛の店として全国に名を轟かせておりました。しかし残念ながら今年の7月にマスターが店を閉め、佐賀に移転することとなり、私の代の猛者達が集結し、先日、食べ納めをしました。特に、噂の麻婆丼大盛りを選んだ佐原君(大夏93委員長)はマスターの期待に応えるかの如く、5分で平らげました。麻婆豆腐は飲み物であると初めて知りました。マスターは佐賀でもお店を開く

《会費納入のお願い》

「稲門英語会」は皆様の会費によってすべてが運営されています。早大英語会補助、会員通信費など、会の継続のための大切な資金です。2014年度会費の納入をお願いいたします。今年度会費をまだ納入されていない方も、ご入金をお願いいたします。年会費は五千円です。口座名義は「稲門英語会」、お手数ですが必ず卒業年次をお書きください。◆郵便振替/郵便振替口座: No. 00100-4-9538 (同封の郵便振替用紙をご利用ください) ◆銀行振込/三菱東京UFJ銀行 虎ノ門中央支店(店番332) 普通預金口座: No. 0152412 みずほ銀行 虎ノ門支店(店番046) 普通預金口座: No. 2283024 ◇口座自動引落をご利用の方で、金融機関名・支店名・口座番号が変更になった場合は変更届をご提

出ください。また、自動引落の登録をご希望の方は事務局までご連絡ください。

《総会・懇親会のご案内》

今年度の総会・懇親会は10月26日(土) 15時30分から開催します。皆様お誘い合わせのうえ、是非ご出席ください。場所:「永楽倶楽部」

Tel.03-3580-0046 千代田区永田町2-12-4 赤坂山王センタービル7F (別紙に詳細)

《稲門英語会事務局HP開設》

稲門英語会事務局ホームページを開設しております。ぜひご利用ください。URL: http://kjass.net/wess/



そうです。開店記念として麻婆丼大盛完全食4分を目指すのは、言うまでもありません。いざ集え、猛者達よ。(平成7年卒)

事務局よりのお知らせ